

としょかん つうしん

2月号



2月号のテーマは「家族」です。おとうさん、おかあさん、おじいさん、おばあさん、兄弟・・・家族のおはなしはたくさんありますね。家族みんなで絵本を味わってみませんか？

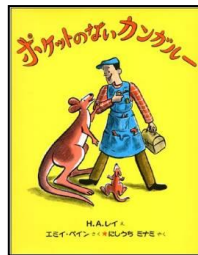


「おじいさんならできる」

年少向け

フィービ・ギルマン作・絵
福音館書店

ヨゼフが赤ちゃんの時、おじいさんがすてきなブランケットを縫ってくれました。ヨゼフが大きくなるとブランケットは古くなりぼろぼろに。でもおじいさんはそれを見事にジャケットに変身させてしまいました。そしてまた古くなるとベストに・・・と、どんどん小さくなりながら、すてきなものに変身させていくのです・・・最後には？物を大切にすることを教えてください。



「ポケットのないカンガルー」

年中向け

H. A. レイエ エミイ・ペインさく
偕成社

お母さんカンガルーのケイティには、ポケットがありません。小さなフレディを他の子どものようにポケットに入れて、いろんなところへ連れていきたい。でも・・・。ポケットのことを考えるたび悲しくなりました。ケイティは他の動物のお母さんたちに子どもを運ぶ方法をたずね試してみますが、なかなかうまくいきません。そんなある日、街でポケットを売っていることを教えてもらいました。そこで出会ったのはたくさんのポケットを持った優しい男の人。体中ポケットだらけの幸せそうなケイティとフレディの顔に、思わずニコリしてしまいます。



「フランシスのいえで」

年長向け

ラッセル・ホーバンさく リリアン・ホーバンえ
好学社

アナグマの女の子フランシスに妹のグローリアが生まれました。おかあさんはグローリアのお世話で大忙し。フランシスはやきもちをやき、好きなものをリュックにつめて家出をします。行き先は食堂のテーブルの下。そこでおとうさんとおかあさんはフランシスがいけないことをとても淋しく思っている話を耳にしたのです。そこでフランシスは、家出をやめて・・・。わがままを言うフランシスへのおとうさんとおかあさんの対応が、愛情に満ちあふれています。「フランシス」のシリーズで40年以上読み継がれています。